

# タントラマッサージ・シークレット



セラピストまこと

この度は、“**タントラマッサージ・シークレット**”をダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。

“セラピストまこと”こと齊藤まことです。

今、タントラが世界中で密かにブームを呼んでいます。

アメリカをはじめヨーロッパ、オーストラリアのセレブたちが中心となり、じわじわと日本にも伝わってきました。

ストレス解消法、癒し、アンチエイジングなどのライフスタイルの流行から、今後本格的に広まってくると感じます。

ただタントラは、まだ詳しく紹介されていないため、正しい知識、情報に到達できていない状況です。

僕は、ヨガ、瞑想、呼吸法の経験を通じてタントラに辿り着き、独自のスキームで2013年頃から少しずつ活動を通して広めています。

ただ、実際にタントラを受けていただく前に知識として理解しておいていただきたいと思いますこのレポートを書きました。

このレポートを通して、日本のセックスレス、少子化など性の問題に少しでも貢献できればとても嬉しいです。

## 【タントラとは何か？】

タントラの語源は古代インド語（サンスクリット語）で、知識を広げること、すなわち覚醒や昇華、悟りといったより高次元への精神的な飛翔を意味します。

そして、インドの精神世界、密教に登場する性エネルギーを極限まで高め、覚醒につながる秘法であり目指す奥義であります。

そう、だれにでも例外なく備わっているが、通常は眠っている超能力。

それを目覚めさせる奥義がタントラなのです。

タントラの教義では女神、なかでも性力（シャクティ）への信仰を背景に、性の力（爆発的な生命エネルギー）を昇華させることによって神へといたる道のことです。

シャクティをうまく活性化させることができれば、強靱な身体、直感力や創造力、はては超能力といわれる非日常的な感覚、予知能力を思いのままに獲得することが可能なのです。

このシャクティは普段は人間の会陰部、ムラダーラと呼ばれる第1チャクラに眠っているとされる。

それでは、チャクラとはいったい何のことでしょう？

## 【チャクラ】

「ヒンドゥー教のヨーガでは、人体の頭部、胸部、腹部で、輪または回転する車輪のように光っているように感じられる箇所を言う。数は6または7箇所といわれるが、それとは別に8箇所あるという説もあるなど一定ではない。画像では光る蓮華で表現される。猿であったときの尻尾の名残の尾てい骨から発生する蛇を、チャクラを通じて頭から出すのが目的といった見解がある。そして、**チャクラが開いて正常にはたらいていれば、人間は心も身体も健康で、エネルギーに満ち溢れ、ひらめきなど脳が活性化されます**が、閉じてしまうと、病気になったり感覚が鈍くなったり、失敗して不運を招いたりしやすくなります」(出展 : wikipedia)



(写真 a)

第1チャクラ - ムーラダーラ 場所：会陰部

機能：生命と霊性の根幹

第2チャクラ - スヴァディスターナ 場所：生殖器の基底部

機能：個性・感覚・運動器官・呼吸

第3チャクラ - マニプラ 場所：へそ

機能：視覚・眼

第4チャクラ - アナハタ 場所：心臓

機能：感触・呼吸

第5チャクラ - ヴィシュダ 場所：のどの後ろ、脊柱と延髄の継ぎ目

機能：長生き、真理の理解、過去・現在・未来を見通す力

第6チャクラ - アジーナ 場所：眉間

機能：創造力、母の力、認識能力

第7チャクラ - サハスラーラ 場所：頭頂

機能：すべての色彩、感覚、機能を内包する。

## 【タントラ・プラクティス】

シャクティを覚醒させる実践法

☆女性へのマッサージ（ヨニ・マッサージ）

“ヨニ”とはサンスクリット語で「女性器」のことを表します。

タントラの修行者は女性器を神聖なものと考え「神聖な寺院」「黄金の華」などと喩え大切に扱っていました。現代のAVや風俗などが女性器をただのセックスの道具、男性が気持ち良くなり射精するだけの穴と考えて雑に扱っているのは大きく異なります。

ヨニ・マッサージを行う時にはこうした高度な思想を理解して修行僧のように“女性器を心から礼讃できなければなりません。

心理療法などでいわれているように、“心は目には見えないけれど相手の心に影響を与える”という考えをセクシャルマッサージストは大切にしているからです。ヨニ・マッサージはセクシャルなヒーリングマッサージですから当然のことです。

ヨニ・マッサージは本来、ピュアオイルを使って行われるもので、インド伝統医学アーユルヴェーダの方法が取り入れられています。インドでは出産のとき胎児の頭で膣口・会陰が裂けてしまうトラブルを未然に防ぐために膣を柔軟にし、広げる妊婦向けのオイルを使ったトリートメント、“ヨニピチュ”が行われています。

ヨニピチュの“ピチュ”は「木綿」という意味で、その名の通り丸めた木綿にピュアオイルを浸したものが使われます。国内では「**膣ピチュ・会陰ピチュ・膣マッサージ**」と呼ばれ紹介されています。

ヨニピチュは、まず膣内にオイルを染み込ませた木綿を挿入し、数十分間放置してオイルを粘膜に浸透させて潤いを与え、膣の拡張と内部から身体の活性を促します。また、オイルをロートで膣に流し込んで膣内洗浄することもアーユルヴェーダでは行われています。

人体の細胞は微弱な磁気を出しているので他人に触れられたりマッサージされるだけでも微細な磁気の流れが変わります。

オイルを膣に入れることで微細な磁気に影響を与えようという考えが背景にあります。

ヨニ・マッサージはヨニピチュと似たようにオイル（または潤滑液）を使って膣内のGエリアを含む、あらゆるポイントを指圧しながら、さすり膣内トリートメントを行います。インド・中国では全身を流れるエネルギー

(気・プラーナ) ルートがあると考えられています。インドではナディ、中国では経絡(けいらく)と呼ばれています。

#### ◇ヨニ・マッサージの目標・効能

ヨニ・マッサージでは女性のオーガズム(絶頂)を最終到達点とは考えていません。絶頂に似た強い快感を長時間に渡って体感するのが目標です。絶頂寸前の心地良さを感じ続けることで女性は絶頂以上の浮遊感を感じられます。



☆次に男女のカップルで行う方法を解説しましょう。

### 「タントラ・セックス」





(写真 b)

タントラヒーリングマッサージは「女性性の象徴ヨニ」と「男性性の象徴リンガ」を交合させて行なうセクシャルボディコミュニケーション・ヒーリングマッサージです。“リンガ”とは「男性器」を表わす古代インド語です。

タントラでは“ヨギーニー”と呼ばれる巫女と“ヨギ”と呼ばれる修行者の間で精神修養として“タントラヒーリング”が行われていました。また、タオでは、長寿のための健康法として仙人と仙女との間で交合が行われていました。女性器に男性器を収めることで互いの“気の補い合い”を行い、心身ともに健康になると考えられていたからです。

タントラヒーリングマッサージは“タントラ・セックス”と呼ばれています。

タントラ・セックスはセラピーや癒しの効果があるボディコミュニケーション（身体対話）です。動物は生殖（赤ちゃんを作るため）だけにセックスを行いますが高尚な人間は心と身体のために交合を行なっています。

1. 理想の体位：写真 b のような神々の交合をイメージする。半跏趺坐の男性に女性が跨りながら胴に脚を巻きつけるように結合する。
2. 呼吸法：この時には呼吸を合わせ、男性が吸うときは女性は吐き、逆に女性が吸うときは男性が吐く。できるだけ長い呼吸でクンダリーニの上昇をイメージする。
3. この時に、キスをしながら深く下を絡ませ、同時に眼、腋下、胸、下腹、腰をできるだけ密着させ一体となる感覚。
4. 通常のセックスで行うような愛撫、キスはできるだけゆっくりと行う。
5. 射精しそうになったり、オーガズムに達しそうになったときは息を止め（クンバカ）統御する。オーガズムに達したら終了となる。これらの過程によって性エネルギーは通常では感じることのできない領域に到達する。猛烈なスピードでクンダリーニに上昇し、男女双方の肉体と精神に爆発的なエネルギーが発生し蓄積される。

これがタントラ・セックスの奥義である。

-----  
レポートは以上となります。

尚、このレポートは、「舐め犬りらクンニ」こと栗尾さまの大人気ブログ「クンニ奉仕舐め犬りらクンニ」から写真、文章を引用させていただきました。  
<http://cunni92.blog133.fc2.com/>

また、ブログやメールマガジン等でも有益な情報を配信していますので、よろしければご覧ください。

昇天に導く者のブログ ⇒ <http://saitomakoto1919.blog.fc2.com>

いつか、あなたと直接お会いできる日を楽しみにしています。

それでは、これからどうぞ宜しくお願い致します。

セラピストまこと

メールアドレス : [saito.makoto69@gmail.com](mailto:saito.makoto69@gmail.com)